

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月21日(火)

事務事業		ハッピーエンゼル支援事業		担当課	保健センター	担当係	保健指導第二係	管理番号	3353	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市不妊治療費補助金交付要綱 深谷市早期不妊検査・不育症検査費交付要綱				
	小項目	1	健康づくりの推進							
	主要プロジェクト	1	出産・子育て安心ふかやプロジェクト							
事業概要		晩婚化の進展に伴い、年齢を重ねるほど妊娠率が下がり、妊娠・出産に係るリスクが高まる。子どもを望む夫婦に対し早期不妊検査、不育症検査及び不妊治療に係る費用の負担軽減を図ることを目的として事業を実施することにより、少子化社会対策の推進を目指すものである。								
目的 ※何のために		経済的負担を理由に不妊検査や不育症検査及び不妊治療をあきらめる夫婦の減少を図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		妻が43歳未満で不妊検査・不育症検査を受けた夫婦、および不妊治療のうち体外受精又は顕微授精治療を受けた夫婦。								
手段 ※どのように		早期不妊検査・不育症検査費補助金…2万円を限度に検査費を補助。不妊治療費補助金…埼玉県不妊治療費助成事業による助成金額を控除した額の1/2（上限10万円）を補助。								
成果 ※何を求めるか		経済的負担の軽減及び治療機会の増大に繋がる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	5	母子保健費	ハッピーエンゼル支援事業	8,534,000
本事業の 主な業務		・不妊相談							・	
		・不妊治療費補助金交付							・	
		・早期不妊検査費補助金交付							・	
		・不育症検査費補助金交付							・	
		・男性不妊治療費補助金交付							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		早期不妊検査費補助事業	不育症検査費補助事業	不妊治療費助成回数拡大 男性不妊治療費を対象申請期間の拡大	不妊治療 所得制限廃止 (R3. 1月治療開始分～)		不妊治療補助制度改正 (R4. 4月から不妊治療の保険適用により補助内容を県に合わせ、改正)
事業費	予算（現額）	10,500,000	10,500,000	11,200,000	9,500,000	9,400,000	9,400,000
	決算額	5,968,076	6,338,386	7,639,000	6,952,000	8,534,000	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	728,000	1,352,000	899,000	1,450,000	1,650,000
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	5,240,076	4,986,386	6,556,000	6,053,000	7,084,000	7,750,000
人件費	従事職員数（人）	0.28	0.29	0.34	0.17	0.15	0.20
	人件費相当試算※	2,178,120	2,256,780	2,755,700	1,383,120	1,164,288	1,626,270
総事業費試算		8,146,196	8,595,166	10,394,700	8,335,120	9,698,288	11,026,270

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	助成事業メニュー数	目標値	事業	0	3	4	4	4	4	
		実績値		2	3	4	4	4	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			平成29年度の実績から目標値を設定/助成事業メニュー数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	早期不妊検査費助成数	目標値	件							
		実績値		23	32	25	27	36	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請によるため、目標値の設定はできない / 助成者数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	不育症検査費助成数	目標値	件							
		実績値		0	6	5	2	2	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請によるため、目標値の設定はできない / 助成者数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	不妊治療費助成件数	目標値	組							
		実績値		70	71	95	96	120	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請によるため、目標値の設定はできない / 助成者数						
	実績値の算出式									
成果指標 4	妊娠確認数	目標値	件							
		実績値		32	31	33	36	41	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			本制度の利用により、妊娠に結びつくとは限らないので目標値の設定はできない / 治療実施証明書からの確認数						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	助成事業のメニュー数は目標値を達成している。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	早期不妊検査、不育症検査、不妊治療について、申請のあった夫婦に適切に検査費や治療費を補助し、経済的な負担の軽減を図ることができた。前年と比較し、早期不妊検査と不妊治療の補助金申請件数が増加している。
			評価者 第一係長 石川 初恵 第二係長 小井土 和美

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	埼玉県不妊治療費補助事業等、県の補助事業が基本であるため、ICT化などはないが、効率的に事業実施ができています。
			評価者 第一係長 石川 初恵 第二係長 小井土 和美

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	令和4年度から国の制度改正により不妊治療費の保険適用が検討されている。国・県の動向を見ながら、事業の見直しを行う。
達成状況及び その効果	令和4年4月1日から不妊治療費の保険適用となった。それに伴い、埼玉県は、令和3年度から継続して年度をまたぐ治療の補助や、保険適用後の不妊治療費についても、要件にあえば補助するようになるため、県の要綱に合わせて、市の要綱を改正する。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	ハッピーエンゼル支援事業	担当課	保健センター	担当係	保健指導第二係	管理番号	3353
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>不妊検査や不妊治療を希望する夫婦は増加しているが、不妊治療等は身体的・精神的負担だけでなく経済的にも負担が重いことから経済的な支援が必要になっている。令和4年度から不妊治療が保険適用となり、子どもを望む夫婦にとって、経済的負担が減少してくると思われる。今後も、早期からの不妊検査・不育症検査費補助の継続とともに、県の補助に合わせ、不妊治療費についても補助していく。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	保健センター所長 穂山 光昌				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	埼玉県早期不妊治療費補助事業に合わせ、市の不妊治療費補助事業の要綱改正を実施する。その際、市民への周知を広く行い、該当者が申請できるように配慮する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	今後も子どもを望む夫婦に早期から検査・治療の機会を得られるよう、経済的な負担の軽減等について、国、県、県内市町村からの情報収集を行っていく。

8. 評価指標グラフ

